

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年11月5日まで（2021年4月6日設定）	
運用方針	外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。 設定日から2022年10月までは、原則として、株式部分（外国投資法人の投資信託証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。また、株式部分以外は、原則として、マネー・マザーファンドや短期金融資産に投資します。 2022年11月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト 投資ファンド 2021-04 (限定追加型)	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
	マネー・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決めます。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型
ベイリー・ギフォード
インパクト投資ファンド2021-04
(限定追加型)

愛称：ビルドアップ型 ポジティブ・チェンジ



第4期（決算日：2024年6月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04（限定追加型）」は、去る6月25日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてE S G要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ（<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>）をご覧ください。

E S Gとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったものです。

ファンドマネージャーのコメント

■運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。この中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを学んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。

また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

■ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

「EPIROC AB-B」は、鉱業やインフラ産業、天然資源産業で使用される建設機械や鉱業機械を製造・開発しています。同社の手掛ける製品の品質やアフターマーケットビジネスを評価しており、同社が注力する電動化や自動化、デジタル化を通

じて脱炭素化に貢献するとみており、新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

「10X GENOMICS INC-CLASS A」は、急速な革新を続け、空間的遺伝子発現解析で重要な進展を遂げていますが、シングルセル遺伝子発現解析の商業化に苦戦しており、競争環境が急速に変化しているため全売却しました。

■ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト（2022年12月末時点）

◎ASML HOLDING NV（平等な社会・教育の実現）

同社の製造する露光装置（リソグラフィー）は半導体製造において重要なプロセスを担います。同社のリソグラフィーはより短い波長の光を使用することで、より細かい半導体設計を可能とし、トランジスタのサイズを小さくすることを可能にしています。同社の製品は、エネルギー効率の良い半導体製造や、より小型で高性能な電子機器の製造に役立っており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に345のリソグラフィーシステムを

販売しており、この内40が極端紫外線（EUV）リソグラフィシステムです。EUVは、従来より短い波長の光を使用する技術で、同社は世界で唯一のEUVメーカーです。

◎TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC （平等な社会・教育の実現）

同社は継続的な投資で半導体の高性能化と低コスト化を実現しています。これはインターネット接続の価格低減とアクセス向上の他、エネルギー効率の向上や、医療の進歩への貢献といったインパクトをもたらしており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2022年に、12インチ換算で1,530万枚のウエハーを出荷しています。

■エンゲージメント（2023年12月末時点）

◎MERCADOLIBRE INC（平等な社会・教育の実現）

同社の最高財務責任者（CFO）と電話会議を実施しました。同社が過去数四半期に亘り、電子商取引の市場シェアを一貫して拡大している要因について議論しました。CFOは、市場シェア拡大の要因として、物流への投資、エンジニアリングチームの拡大、マーケティングの質の向上を挙げました。物流への投資によって、同社は利益を確保しつつ低価格の商品を提供し、対象市場を拡大することを可能にしています。規模の拡大に伴い、営業レバレッジが実現し、同社の利益率は上昇しています。

◎MODERNA INC（医療・生活の質向上）

米国のマサチューセッツ州ケンブリッジで同社の投資家向け広報チームと会談しました。この会談により、同社のメッセンジャーRNA（mRNA）治療における競争優位性について引き続き理解を深めることができました。また、同社がどのように過去の臨床プログラムのデータを利用して、将来の医薬品開発に役立てているかについて議論しました。さらに、脂質ナノ粒子の送達メカニズムに関するデータとノウハウが、どのように医薬品開発の迅速化とコスト優位性に繋がっているかについても議論しました。最後に、同社が社会的インパクトの報告を改善する方法について、ベイリー・ギフォードの見解を伝えました。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー（共同経営者）インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 騰 金 落	中 率				
(設定日)	円	円		%	%	%	%	百万円
2021年4月6日	10,000	—	—	—	—	—	—	1,739
1期(2021年6月25日)	10,065	0	0.7	26.1	—	15.8	2,264	
2期(2022年6月27日)	8,519	0	△15.4	0.0	—	71.3	1,836	
3期(2023年6月26日)	10,767	0	26.4	0.0	—	96.8	1,791	
4期(2024年6月25日)	11,834	0	9.9	0.0	—	98.5	1,263	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額	債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率	投 証	資 入	信 比	託 券	率
				騰 落 率											
(期 首)			円	%			%			%					%
	2023年	6月	26日	10,767	—		0.0			—					96.8
	6月末			10,824	0.5		0.0			—					98.5
	7月末			10,626	△ 1.3		0.0			—					98.6
	8月末			10,502	△ 2.5		0.0			—					98.5
	9月末			9,848	△ 8.5		0.0			—					98.4
	10月末			9,411	△12.6		0.0			—					98.4
	11月末			10,471	△ 2.7		0.0			—					98.5
	12月末			10,786	0.2		0.0			—					98.5
	2024年	1月	末	11,138	3.4		0.0			—					98.8
	2月末			11,328	5.2		0.0			—					98.5
	3月末			11,731	9.0		0.0			—					98.6
	4月末			11,276	4.7		0.0			—					97.7
	5月末			11,408	6.0		0.0			—					98.4
(期 末)															
	2024年	6月	25日	11,834	9.9		0.0			—					98.5

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第4期：2023年6月27日～2024年6月25日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第4期首	10,767円
第4期末	11,834円
既払分配金	0円
騰落率	9.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.9%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC」は半導体受託生産を行う大手ファウンドリーです。同社の規模、技術及び効率は今後も半導体の価格低下を可能にし、ひいては多くの業界でイノベーションと環境及び社会面のインパクトの実現を可能にするとみています。また、大手のパートナー企業と長期の良好な関係を築いていることから、コストを抑えながら最新の設備へ投資を続けることが出来ていると考えており、保有しております。同社は人工知能（AI）に関連する銘柄が大きく上昇する中、主要顧客である大手のパートナー企業などからの受注が好調であることや、市場がAIに関連する製品の需要拡大を見込んでいることなどから、同社の株価が大きく上昇し、プラスに寄与しました。

下落要因

「ORSTED A/S」は洋上風力発電施設の開発などを手がけています。同社が手がける洋上風力発電は多くの国にとって重要なエネルギー源となり、同社の規模のメリットと専門性がこうした成長機会を活かして収益を上げることができると考えていました。しかし、同社は2022年に不適切なヘッジ取引により大きな損失を被り、2023年には米国での一部事業からの撤退に伴う多額の損失を計上しました。当期間でも前述の要因などを背景に株価は大きく下落し、マイナスに作用しました。なお、同社の成長の機会は依然残されているものの、同社の経営陣が適切な資本配分や株主に対する長期的な価値を生み出す能力に疑問を持ったことから、期間中に同社を売却しております。

第4期：2023年6月27日～2024年6月25日

投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年7月にかけては、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことなどを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が後退したことや、一部企業が良好な決算を発表したことなどから上昇しました。8月から10月にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利見通しが引き上げられたことや中東の地政学リスクの高まりなどを背景に下落しました。11月以降は一時的に下落する局面もあったものの、FOMCで2024年以降の利下

げが示唆されたことや一部企業の良好な決算が好感されたことなどから上昇し、当期間を通じてみると上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルやユーロは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移していたものの、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除したことにより、期間末には0%を上回りました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 2021-04（限定追加型）

株式部分については、設定時から2022年10月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

■テーマ別組入比率

（現地2024年6月24日時点）

テーマ	比率(%)
平等な社会・教育の実現	44.9
環境・資源の保護	26.4
医療・生活の質向上	22.2
貧困層の課題解決	5.9

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※データはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

当期間の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

建設・鉱業機械メーカーの「EPIROC AB-B」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

遺伝子解析技術の提供などを行う「10X GENOMICS INC-CLASS A」などを全売却しました。

ポジティブ・チェンジ戦略のエンゲージメント活動

2023年は、32社の投資先企業との間で96回のエンゲージメントを行いました。これは、ベイリー・ギフォードが企業と頻繁に面談し、経営陣と強固な関係を築いていることを反映しています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/fund/254095.html>）にて開示を行っています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当ファンドが投資する外国投資法人の運用に用いられるポジティブ・チェンジ戦略とインパクト・テーマおよびエンゲージメントについて紹介したものです。したがって、ご紹介している内容は当ファンドの投資対象ファンドの内容と異なる場合があります。

また、「ポジティブ・チェンジ戦略への投資が、社会に与えるインパクト」について、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/lp/positive_change/indicator/index.html）にて紹介しております。

▶ **マネー・マザーファンド**

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期 2023年6月27日～2024年6月25日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,833

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 2021-04（限定追加型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）およびマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

景気見通しや地政学リスク、各国の金融当局による金融政策の動向に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開となる可能性があるものの、短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと

考えています。当ファンドの運用については、引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

また、「貧困層の課題解決」のテーマでは更なる投資機会を探しています。具体的には、低所得国における起業の円滑化、アフリカにおけるインフラの改善、インドにおける金融包摂の支援等を行う企業を継続的に調査しております。

▶マネー・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は低位安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2023年6月27日～2024年6月25日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	158	1.458	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(83)	(0.768)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0.658)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	158	1.461	

期中の平均基準価額は、10,819円です。

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

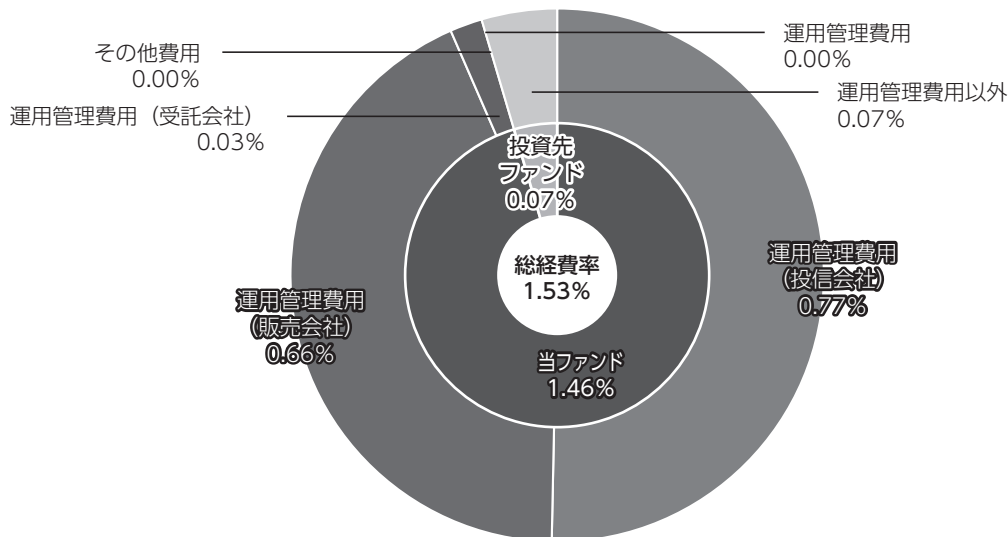
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.53
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.46
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.07

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年6月27日～2024年6月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPV・アキュムレーション	千口 —	千円 —	千口 236	千円 621,000

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月27日～2024年6月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年6月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPV・アキュムレーション	663	426	1,245,108	98.5
	合 計	663	426	1,245,108	98.5

(注) 比率はビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04（限定追加型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・マザーファンド	200	200	199

○投資信託財産の構成

(2024年 6 月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,245,108	% 97.8
マネー・マザーファンド	199	0.0
コール・ローン等、その他	28,053	2.2
投資信託財産総額	1,273,360	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年6月25日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,273,360,792
コール・ローン等	28,052,641
投資証券(評価額)	1,245,108,464
マネー・マザーファンド(評価額)	199,639
未収利息	48
(B) 負債	9,651,551
未払信託報酬	9,632,784
その他未払費用	18,767
(C) 純資産総額(A－B)	1,263,709,241
元本	1,067,889,148
次期繰越損益金	195,820,093
(D) 受益権総口数	1,067,889,148口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,834円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,663,674,518円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 595,785,370円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,834円です。

②分配金の計算過程

項 目	2023年6月27日～ 2024年6月25日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	113,924,945円
収益調整金額	144,757円
分配準備積立金額	81,755,321円
当ファンドの分配対象収益額	195,825,023円
1万口当たり収益分配対象額	1,833円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2023年6月27日～2024年6月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 151
受取利息	4,778
支払利息	△ 4,929
(B) 有価証券売買損益	134,946,817
売買益	155,196,705
売買損	△ 20,249,888
(C) 信託報酬等	△ 21,003,121
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	113,943,545
(E) 前期繰越損益金	81,736,473
(F) 追加信託差損益金	140,075
(配当等相当額)	(△ 4,930)
(売買損益相当額)	(145,005)
(G) 計(D＋E＋F)	195,820,093
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	195,820,093
追加信託差損益金	140,075
(配当等相当額)	(△ 4,930)
(売買損益相当額)	(145,005)
分配準備積立金	195,680,266
繰越損益金	△ 248

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション
運用方針	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）のうち、持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす製品、サービスの提供や、かかる事業活動を公正かつ誠実に実施する企業の株式等への投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざします。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等
主な組入制限	・ 同一の発行体が発行する株式等への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・ 新興国の株式等への投資額は、合計して純資産総額の50%以内とします。 ・ ロシアの金融商品取引所に上場されている株式等へは投資を行いません。ただし、先進国の金融商品取引所に上場されているロシアの株式等は投資対象とします。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として分配を行わない方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資明細表はANNUAL REPORT AND AUDITED FINANCIAL STATEMENTS FOR THE YEAR ENDED 30 SEPTEMBER 2023版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、シェアクラス分けされたものがないため、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドで掲載しています。

(1) 運用計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2022年10月1日～2023年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
収益：	
投資収益	21,372,860
銀行受取利子	423,630
その他収益	17,478
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び金融負債に係る損益（純額）	317,307,113
投資（損）益合計	339,121,081
費用：	
運用受託報酬	(3,679,556)
事務処理手数料	(676,167)
監査報酬	(15,501)
法務及び専門家報酬	(75,283)
事務管理手数料	(585,725)
預託手数料	(742,236)
ディレクター報酬及び費用	(2,941)
その他費用	(65,409)
運用費用合計	(5,842,818)
費用清算	—
純費用	(5,842,818)
分配	—
金融費用	(187)
純損益	333,278,076
源泉徴収税	(4,836,212)
純資産の純増加（減少）額	328,441,864

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2022年10月1日～2023年9月30日)

ベイリー・ギフォード・
ワールドワイド・
ポジティブ・チェンジ・
ファンド

米ドル

純資産期首	1,909,926,052
投資信託証券の純発行額	168,045,288
分配再投資	—
投資信託証券の純償還額	(462,035,037)
純増減額	(293,989,749)
純資産の純増加（減少）額	328,441,864
純資産期末	1,944,378,167

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資明細表 (STATEMENT OF INVESTMENTS)

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド (2023年9月30日現在)

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities			
Belgium - 2.27% (30 September 2022: 3.28%)			
Umicore SA	1,850,043	44,143,441	2.27
Brazil - 11.57% (30 September 2022: 7.03%)			
MercadoLibre Inc	127,656	162,755,017	8.37
NU Holdings Ltd Class A	8,529,282	62,135,820	3.20
Canada - 5.63% (30 September 2022: 2.39%)			
AbCellera Biologics Inc	4,202,839	19,564,215	1.01
Shopify Inc Class A	1,690,248	89,929,645	4.62
China - 2.36% (30 September 2022: 0.00%)			
Wuxi Biologics Cayman Inc	7,868,000	45,850,230	2.36
Denmark - 6.46% (30 September 2022: 9.64%)			
Chr Hansen Holding A/S	619,632	38,319,527	1.97
Novozymes A/S Class B	1,009,456	41,069,944	2.11
Orsted A/S	836,113	46,234,937	2.38
Germany - 2.45% (30 September 2022: 2.85%)			
Sartorius AG	137,409	47,583,922	2.45
India - 4.15% (30 September 2022: 4.21%)			
HDFC Bank Ltd	4,374,050	80,789,155	4.15
Indonesia - 4.64% (30 September 2022: 4.61%)			
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	265,033,605	90,245,186	4.64
Japan - 3.41% (30 September 2022: 2.29%)			
Daikin Industries Ltd	235,900	37,140,759	1.91
M3 Inc	1,596,400	29,115,265	1.50
Kenya - 0.31% (30 September 2022: 0.67%)			
Safaricom PLC	62,236,100	6,099,726	0.31
Netherlands - 6.78% (30 September 2022: 6.62%)			
ASML Holding NV	220,692	131,764,070	6.78
South Africa - 2.27% (30 September 2022: 2.14%)			
Discovery Ltd	6,000,065	44,070,448	2.27
Taiwan - 5.42% (30 September 2022: 6.37%)			
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	6,515,000	105,453,370	5.42
United States - 41.30% (30 September 2022: 43.56%)			
10X Genomics Inc Class A	737,074	30,400,617	1.56
ABIOMED Inc	232,884	—	—
Alnylam Pharmaceuticals Inc	440,431	76,650,409	3.94
Autodesk Inc	216,924	45,075,723	2.32
Coursera Inc	3,115,354	57,525,012	2.96
Deere & Co	243,807	93,802,305	4.82
Dexcom Inc	825,859	78,840,629	4.06
Duolingo Inc Class A	411,778	65,507,703	3.37
Ecolab Inc	274,624	46,486,978	2.39
Illumina Inc	330,090	43,675,858	2.25
Moderna Inc	795,431	79,757,866	4.10
Remitly Global Inc	1,434,592	36,417,118	1.87
Tesla Inc	338,688	83,440,869	4.29
Xylem Inc	719,537	65,517,442	3.37
Total Equities		1,925,363,206	99.02
Financial Equity Assets at Fair Value through Profit or Loss		1,925,363,206	99.02
Financial Equity Liabilities at Fair Value through Profit or Loss		—	—

	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Total Financial Assets at Fair Value through Profit or Loss	1,925,363,206	99.02
Total Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss	—	—
Other Net Assets	19,014,961	0.98
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares	1,944,378,167	100.00
Analysis of Total Assets (Unaudited)		Total Assets %
Transferable securities admitted to an official stock exchange listing	1,925,363,206	98.85
Transferable securities dealt in on another regulated market	—	0.00
Transferable securities other than those admitted to an official stock exchange listing or dealt in on another regulated market	—	0.00
Financial derivative instruments	—	0.00
Other assets	22,479,324	1.15
Total Assets	1,947,842,530	100.00

マネー・マザーファンド

《第6期》決算日2024年1月19日

[計算期間：2023年7月20日～2024年1月19日]

「マネー・マザーファンド」は、1月19日に第6期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主としてわが国の短期公社債等に投資を行います。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
2 期 (2022年 1 月 19 日)	9,992	△0.0		60.3	—	996
3 期 (2022年 7 月 19 日)	9,987	△0.1		56.9	—	650
4 期 (2023年 1 月 19 日)	9,983	△0.0		59.4	—	707
5 期 (2023年 7 月 19 日)	9,977	△0.1		77.5	—	825
6 期 (2024年 1 月 19 日)	9,972	△0.1		61.0	—	655

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額	債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰 落 率						
(期 首)			円	%			%			%
2023年	7月	19日	9,977	—			77.5			—
	7月末		9,977	0.0			59.3			—
	8月末		9,976	△0.0			61.6			—
	9月末		9,975	△0.0			60.5			—
	10月末		9,974	△0.0			79.1			—
	11月末		9,973	△0.0			62.5			—
	12月末		9,972	△0.1			64.6			—
(期 末)										
2024年	1月	19日	9,972	△0.1			61.0			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

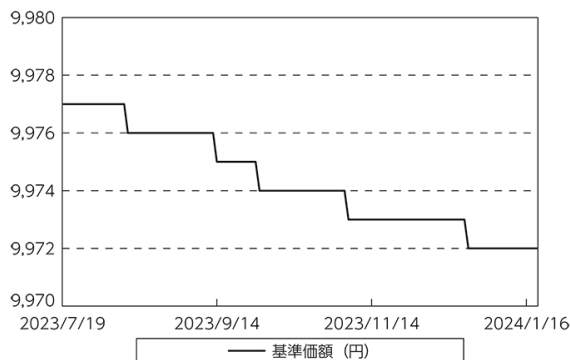
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べて0.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.011%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 7 月20日～2024年 1 月19日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2023年 7 月20日～2024年 1 月19日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 50,390,615	千円 50,630,091

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年 7 月20日～2024年 1 月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2024年 1 月19日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 400,000	千円 400,280	% 61.0	% —	% —	% —	% 61.0
	(400,000)	(400,280)	(61.0)	(—)	(—)	(—)	(61.0)
合 計	400,000	400,280	61.0	—	—	—	61.0
	(400,000)	(400,280)	(61.0)	(—)	(—)	(—)	(61.0)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1199回国庫短期証券※	—	400,000	400,280	—
合 計		400,000	400,280	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2024年 1 月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	400,280	60.5
コール・ローン等、その他	261,632	39.5
投資信託財産総額	661,912	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	661,912,807
コール・ローン等	261,632,807
国債証券(評価額)	400,280,000
(B) 負債	6,243,173
未払解約金	6,243,079
未払利息	94
(C) 純資産総額(A－B)	655,669,634
元本	657,527,813
次期繰越損益金	△ 1,858,179
(D) 受益権総口数	657,527,813口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,972円

<注記事項>

- ①期首元本額 827,730,115円
 期中追加設定元本額 331,909,170円
 期中一部解約元本額 502,111,472円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9972円です。

- ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
- | | |
|--|--------------|
| GRAN NEXT マネーブールファンド | 435,932,804円 |
| MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（マネーブール） | 221,344,809円 |
| ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04（限定追加型） | 200,200円 |
| GRAN NEXT ヘルスサイエンス | 10,000円 |
| GRAN NEXT フード | 10,000円 |
| GRAN NEXT エネルギー | 10,000円 |
| GRAN NEXT テクノロジー | 10,000円 |
| GRAN NEXT モビリティ | 10,000円 |
| 合計 | 657,527,813円 |

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,858,179円です。

○損益の状況 (2023年7月20日～2024年1月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	△ 369,183
受取利息	△ 312,658
支払利息	△ 56,525
(B) 当期利益(A)	△ 369,183
(C) 前期繰越損益金	△1,888,809
(D) 追加信託差損益金	△ 891,519
(E) 解約差損益金	1,291,332
(F) 計(B＋C＋D＋E)	△1,858,179
次期繰越損益金(F)	△1,858,179

- (注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

- ①委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)
- ②新IISA（成長投資枠）の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2023年12月23日)